

技術士業務研究会／平成30年1月度例会案内

☆開催日時：平成30年1月12日（金） 18:30～21:00

☆開催場所：大阪科学技術センタービル602号室（いつもの部屋と異なりますので注意願います）

☆講演

1. (18:35 ～ 19:40)

【ご講演タイトル】：

『日本人先達のインフラ見学報告：台湾の八田ダム、西郷堤。大連市上水用ダム』

掛田技術士事務所

技術士（衛生工学部門）

掛田 健二 氏

【ご講演概要】

日本統治下の台湾では、明治末（1900頃）に完成した北部宜蘭県の西郷堤、昭和3年（1930）に完成した南部嘉南平野を今でも潤している八田ダムなど、先人が残したインフラが、小学校教科書で紹介され、八田ダムは世界遺産に登録申請中である。

大正13年（1924）に完成した大連市の上水専用の台山炮台水庫ダムが現役。1942年完成の吉林市豊満ダム・水力発電所（松花湖）は、戦争で破壊されたが、中国により1957年に改造完成し、松花湖は国家重点風景名勝区として市民に愛されている。

中国での日本先人インフラの建設碑はひっそりと建っており、市民の認識は少ない。  
台湾施設を2017年3月に、大連市ダムを2015年に見学したので、紹介する。

2. (19:45 ～ 20:50)

【ご講演タイトル】： 『食の安全規格：最近の動向』

ハウス食品株式会社

技術士（経営工学）

真野 仁孝 氏

【ご講演概要】

2020年の東京オリンピックへ向けて、政府はHACCP（ハザード分析・重要管理点管理）義務化やGAP（適正農業規範）普及など食の安全に向けての取り組みを強化しようとしている。

一方、食品安全の規格は、2007年にISO22000（食品安全マネジメントシステム）が制定されてから、ISO22000に詳細な要求事項が追加されたFSSC22000や、日本発の食品安全規格JFS-Cが発表されるなど近年大きな動きが見られる。また、2018年はこれらの食品安全規格が改定・バージョンアップされる「当たり年」でもある。

今回は、食の安全規格の背景、主な種類、HACCP義務化、各規格特長、及び今後の動向について説明する。

☆業務研究会連絡事項など

☆例会後、珉珉にて講師を囲んで懇談会を開催予定、有志の方々のご参加を願います。

以上

◇参加費：業務会研究会会員は無料、業務会研究会会員外は1,000円  
◇申 込：2018年1月9日（火）までに下記へお願いします。  
懇親会への参加・不参加も合わせてご連絡下さい。  
予約なしの飛び込み参加も歓迎します。  
業務研 HP <https://sites.google.com/site/gyoumuken/>  
業務研究会 和田 克利 (gyoumuken@gmail.com)

## 【講師のご経歴】

### 掛田 健二 (かけた けんじ)

#### 【経歴】

- ・1972年 名古屋工業大学大学院工学研究科修了、Hitz 日立造船（株）勤務
- ・1984年 技術士 衛生工学部門（汚物処理）
- ・2008年 掛田技術士事務所 所長
- ・2013年 日本技術士会近畿本部衛生工学部会副会長
- ・2014年 日本技術士会近畿本部中国研究会会長  
中国、モンゴル等とのほぼ毎年の相互訪問の団長として技術士集団を引率し、国際技術協力を尽力されている。

### 真野 仁孝 (まの よしたか)

#### 【経歴】

- ・宮城県石巻市出身（1957年1月生まれ）
- ・帯広畜産大学農産化学学科卒業、同大学大学院修士課程修了
- ・1981年 ハウス食品株式会社入社（研究開発部門配属）
- ・1983年～2003年 福岡工場・奈良工場 品質管理部門
- ・2003年～2006年 ハウスフーズアメリカ出向（R&D部門）
- ・2007年～2016年 大阪の関連食品会社出向（品質管理部門）
- ・2016年～現在 ハウス食品株式会社 奈良工場 品質管理部門
- ・所属：（公）日本技術士会 近畿本部 経営工学部会会員、同会 近畿本部登録 関西食品技術士センター幹事、技術士包装物流会理事、（社）日本生産管理学会正会員、食品産業研究会メンバー

以上